

# 事務事業評価資料

施策名	きめ細かな雇用就業支援		所管部局課名	産業労働部政策労働局しごと支援課					
事業名	ひょうご・しごと情報広場運営事業		担当者電話番号	雇用対策係 078-362-3357					
事業目的	職業に関するワンストップサービス体制を確立し、求職者の早期の就職を促進 求職者に対し、職業経験・能力の内容や程度に応じたきめ細かな就職支援の実施								
事業内容	ひょうご・しごと情報広場の運営 総合相談・情報提供、就職・職業能力開発、職業紹介			事業開始年度	平成11年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(86,795 千円) 86,795 千円		(87,378 千円) 87,378 千円		(84,496 千円) 84,496 千円			
	人件費	12,707 千円	従事人員 1.5人	12,540 千円	従事人員 1.5人	12,306 千円 従事人員 1.5人			
	総コスト (+)	99,502 千円	従事人員 1.5人	99,918 千円	従事人員 1.5人	96,802 千円 従事人員 1.5人			
事業の目標	若者しごと倶楽部等による若年者の就職者数 (若者しごと倶楽部サテライト含む)			[目標設定理由] ・厳しい雇用情勢を受け、フリーター等の不安定雇用が課題となる中で、個々の状況に応じた就職支援により若年者の就職を促進する。					
	シニアしごと倶楽部の支援による就職者数			[目標設定理由] ・シニアや団塊世代の再就職支援に対応するため、相談者に的確に対応し、中高年齢者の就職を促進する。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	若年者の就職者数(人)	1,000	毎年度	1,247 (80 千円)	1,200 (83 千円)	1,000 (97 千円)	125%	120%	100%
シニアしごと倶楽部就職者数(人)	20	毎年度	14 (7,107 千円)	20 (4,996 千円)	20 (4,840 千円)	70%	100%	100%	
評価結果	必要性	・雇用情勢の悪化に伴い、多様で安定した雇用就業機会の確保を図るためには、国の施策とも連携した職業情報提供、能力開発、職業紹介が不可欠である。 ・このため、ワンストップ体制を確立し、利用者ニーズに沿った支援メニューの提供ときめ細かな対応を図る必要がある。							
	有効性	・求職者等の個々の状況に応じた就職支援と職業能力開発の相談や情報提供、各種講座やセミナーを実施し、併設ハローワークや無料職業紹介事業により就職まで支援することにより、相談者数等も増加していることから、職業に関するワンストップサービスセンターとして、有効に機能している。							
	効率性	・事業費については、必要最小限で実施しており、指標1単位あたりのコストについても、ほぼ横ばいの状況であることから、効率的な事業実施が図られている。 ・また、産業施策連携職業紹介事業とシニアしごと倶楽部事業の一体運営や、若者しごと倶楽部事業にハローワーク神戸学生職業相談コーナーを併設するなど、事業運営の効率化を図っている。							
	民間・市町との役割分担	・県内全域の求職者や県内へのU・Iターン希望者を対象として実施していることや、産業施策連携職業紹介事業は県内の求人・求職者双方のマッチングを行うなど、いずれも、市町の行政区画を越えた取り組みが必要である。 ・また、営利を目的とした民間では、対象者を限定しない就職支援事業は、なじまないと考えられる。							
	受益と負担の適正化	・就職支援サービスの提供により失業者等の早期再就職を促進することは、生活基盤の安定による社会的負担の減少や活力ある社会の維持に繋がるため、直接的な受益者である利用者の負担は求めている。							

# 事務事業評価資料

施策名	きめ細かな雇用就業支援	所管部局課名	産業労働部政策労働局しごと支援課
事業名	ひょうご・しごと情報広場運営事業	担当者電話番号	雇用対策係 078-362-3357
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小
			統合 凍結(休止)
			継続 実施手法の見直し 延長 終期設定
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲
		民間委託	P F I 負担割合変更 事務改善 その他
	説明		